

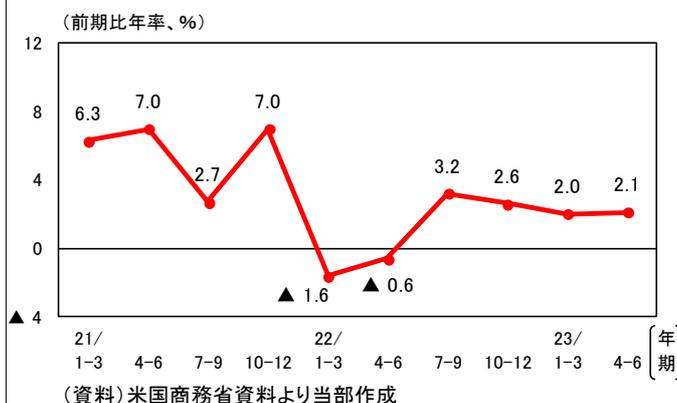
## 底堅い動きが続く米国経済

### 金融引き締め下でも底堅い米国経済

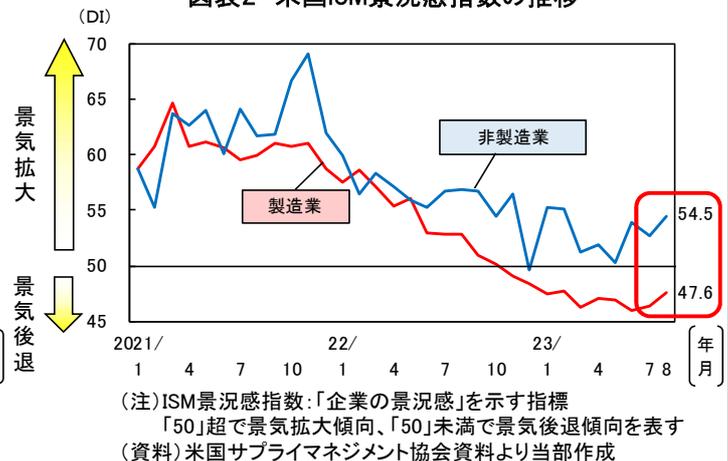
2023年4-6月期の米国の実質GDP成長率は前期比年率+2.1%と4四半期連続のプラス成長となり、大幅な金融引き締めにも拘わらず経済は底堅く推移しています(図表1)。

また、ISM景況感指数は、非製造業が景気拡大と後退の分かれ目となる「50」を上回って推移しているほか、製造業も「50」割れながら足下では改善がみられます(図表2)。

図表1 米国の実質GDP成長率の推移



図表2 米国ISM景況感指数の推移



### FRBは経済成長率の見通しを上方修正

直近の主要経済指標をみると、個人消費支出の増加幅が拡大しているほか、鉱工業生産も上向いています。また、失業率は上昇しましたが依然低水準で、消費者物価の伸びは再び拡大に転じています(図表3)。

こうした中で、FRBは9月のFOMCにおいて政策金利を据え置く一方で、2023年の経済成長率の見通しを上方修正(1.0%→2.1%)しました。金融引き締め長期化の見方が強まる中で、為替相場については当面円安圧力が強い展開が続くとみられます。

図表3 米国の主要経済指標の推移

(%)

2023年/	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
鉱工業生産	1.5	0.8	0.2	0.3	0.0	▲0.3	↗0.0	↗0.3
実質個人消費支出	1.3	0.0	0.0	0.3	0.1	0.4	↗0.6	-
財消費	2.8	▲0.3	▲0.8	0.6	▲0.1	0.7	↗0.9	-
サービス消費	0.6	0.1	0.4	0.1	0.1	0.3	↗0.4	-
消費者物価(総合)	6.4	6.0	5.0	4.9	4.0	3.0	↗3.2	↗3.7
失業率	3.4	3.6	3.5	3.4	3.7	3.6	3.5	↗3.8

(注)失業率以外は、前年同月比  
(資料)各種資料より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：唐井 (TEL082-247-4958) までお願いします。